



令和3年度神戸市の予算の規模です。

BE KOBE

	令和3年度	令和2年度	増△減	伸率(%)
一般会計	8,704 億円	8,387 億円	317 億円	3.8%
特別会計	6,535 億円	6,708 億円	△173 億円	△2.6%
企業会計	3,292 億円	3,497 億円	△205 億円	△5.9%
合計	18,531 億円	18,592 億円	△61 億円	△0.3%

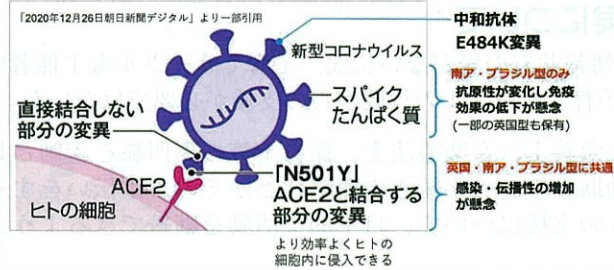
新型コロナウイルス感染症対応予算 **221**億円
(2月補正含む)

- ▶ 感染防止対策・医療提供体制の安定的確保 **161**億円
- ▶ 市民への支援・新しい生活様式への対応 **25**億円
- ▶ 市内事業者への支援 **35**億円

感染力が従来よりも強い変異したウイルスの感染が広がっています 神戸市でも確認されており第4波へと感染拡大の恐れがあります

神戸市環境保健研究所はどこよりも変異株について早くから問題意識を持ち、ゲノム解析を行い、迅速に変異株を検出する検査体制を有しております。

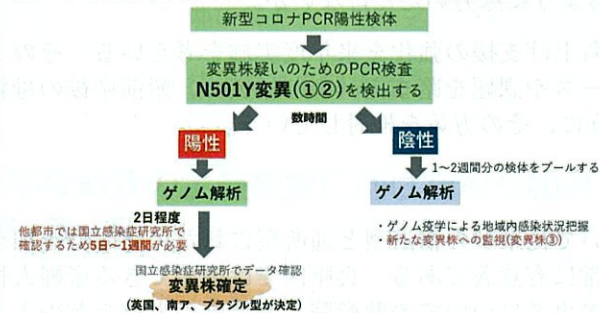
感染する仕組みと変異の特徴



新型コロナウイルスの変異株

- ① 英国型(N501Y変異)
スパイクタンパク質の501番目のアミノ酸がチロシンに置換(N501Y変異)。感染力の増加が懸念されている。
- ② 南アフリカ型とブラジル型(N501Y変異+E484K変異)
N501Y変異に加えて、484番目のアミノ酸がリジンに置換した変異(E484K変異)を持つ。感染力の増加と免疫効果への影響が懸念される。
- ③ 新たな変異株(E484K変異のみ)
N501Y変異を持たずE484K変異のみを持つ新たな変異株が国立感染症研究所から報告された。海外から移入したとみられるが起源は不明。

神戸市環境保健研究所における変異株監視体制



神戸市内の変異株確認状況

ON501Y変異 (変異株①・②) ※これまでの神戸市内のすべてのN501Y変異株は英国型)

検体採取日	市内新規陽性者数	変異株検査数	市内陽性者に占める検査数割合	変異株確認数	検査数に占める変異株の割合
1月1日-1月28日	1,962	677	34.5%	0	0.0%
1月29日-2月4日	317	173	54.6%	8	4.6%
2月5日-2月11日	175	105	60.0%	11	10.5%
2月12日-2月18日	122	79	64.8%	12	15.2%
2月19日-2月25日	50	32	64.0%	7	21.9%
2月26日-3月4日	97	67	69.1%	26	38.8%
計				64	

OE484K変異 (変異株③) 5 (2/18時点) ⇒ 10 (3/4時点)

神戸市内 計 74

(空港検疫関連の陽性者は計上せず。変異検査数には陰性確認を含めず。)

新型コロナウイルスワクチンの集団接種は「みなとがわホール。兵庫区役所内」で実施の予定です。さらに、車での来場(広域アクセス)が便利な接種会場として、イオンモール神戸南(兵庫区)にも開設。

3月14日みなとがわホールで神戸市、神戸市医師会、神戸市民間病院協会、神戸市薬剤師会等関係機関が3ブース、60名の市民に接種する集団接種シュミレーションが実施されました。

当初、4月ごろからとみられてましたが、ワクチンの入荷が数が少ないため、先に高齢者施設から始める予定です。

なお、個別接種の医療機関は3月15日現在、神戸市内で580の医療機関が募集に応じています。

今後の増えかたにより、皆様の身近なところで接種ができるようになります。



神戸市立医療センター神戸中央市民病院
新型コロナウイルス感染者臨時病棟



神戸市立医療センター神戸中央市民病院
医療コンテナ型C.T.室

令和3年第1回定例会市会予算特別委員会(こども家庭局 3月2日)質疑

1. 少子化対策に関わる今後の施策と広報展開について

平野達司 少子化対策として、淡路市は、第5子に100万円の出生祝い金。民間企業のソフトバンクは第3子100万円、第4子300万円。第5子500万円の祝金を2008年度から実施、2019年度第1子第2子合計が約800名。第3子75名。第4子が12名。第5子以降が4名の実績が出ている。そこで神戸市も第3子以降の家庭には固定資産税を減税するなど、神戸で産み育て暮らしていけるような、このような策は、いいかがか。

山村局長 少子化の問題について基本的には国全体で対応、ただ自治体では少子化については待ったなしの状況です。民間企業も成果が上がっているのは、効果があると思う。固定資産税も一つの案。令和3年度から新設することも未来課で政策も担当。新しいアイデアも民間の事例も含めて情報収集し全庁的にしっかりと検討していく。

平野達司 子育ての広報について神戸市として各施策のPRが不足しているのではないかと。

山村局長 細々してると痛感しており十分ではないと思っているが、できれば口コミで利用した人から発信することが信用度が非常に高い。昨年12月から神戸で子育てをしている方、31人を神戸ママフレ部に任命し、ツイッター等で神戸で子育てする魅力について情報発信をしてもらっている。

2. 子育てサークル支援等、子育て施策の充実について

平野達司 兵庫区では出産前のコミュニティや情報共有の場がない状況。子育てサークルも主催者の負担が多くなって、支援を受けづらくなっている状態。子育てサークルの行政からの支援が必要ではないか。

八乙女副局長 母子健康作りグループ支援事業が、栄養士、音楽療法士、保育士等の専門職を講師として派遣、子育てサークルの活性化の支援をしている。補助金申請の手続きの簡略化とかそのお手伝いをする必要なことだと考えるので今後も子育てサークルの支援について、自主的な活動を継続できるように支援を考えていきたい。

平野達司 多様なコミュニティを備えた子供食堂を令和3年度は全校163校区中100校区目標に展開するとあるが産前産後のコミュニティと一緒に展開できるように尽力いただけないか。

八乙女副局長 子供の居場所の全市展開に注力し立ち上げ支援の強化を来年度実施を考えている。その上で、各子育てコーディネーターが中心となり、地域のニーズや課題を踏まえ、より幅広く、産前産後の母親の子育て世代のコミュニティにとっての居場所になるように、その方策を検討していく。

3. 産後ケア事業における人材活用について

平野達司 来年度予算では、産後ケア事業において従来型の宿泊型と通所型に新たに訪問型を加え、地域人材の有効活用、地域の格差を埋める意味でも非常に有意義である。兵庫区では出産できる産婦人科助産院がないため特に大変重要である。訪問型の産後ケア事業についての助産院、助産師の人材をどのように確保しようとしているのか。

東阪母子保健担当部長 産後ケア事業については市内18ヶ所の医療機関と助産所で行っている。自宅でケアを受けることが可能になれば地域間の格差が軽減できると考えており、事業の実施は、実施者の助産師等の専門職の人材確保が大変不可欠である。事業の実施に向けて人材確保についてはぜひ頑張っていきたい。

4. 老朽化した私立保育園の建て替え支援について

平野達司 神戸市の私立保育園で公立の保育園の建物をそのまま引き受けた私立保育園について建物が老朽化して建て替えが必要な保育園には建替の支援が必要ではないか。

高田副局長 子供の安全安心な保育環境を将来にわたって維持するためには、ご指摘の老朽化した保育園の建て替え、これが必要であると認識をしている。そのための支援方策につきまして今後検討していく。



少子化対策としてある民間保育園にて

令和3年第1回定例会市会予算特別委員会(教育委員会 3月5日)質疑

1. コロナ禍における学校の見える化、スマートシティ活用について

平野達司 今回のコロナ禍で授業参観が実施できなかったためオンラインによる授業参観希望が多い。教育の現場でICTの活用が先行している会津若松で、「あいづっこ+」とし「学校の見える化」が進み、学校同士の切磋琢磨で学校のレベルが向上。神戸市もスマートシティの取り組みの中で今後のICT技術を活用した学校の見える化、どのように取り組んでいくのか。



竹森学校支援部長 学校の見える化は、学校運営を行っていくということで大変重要。「あいづっこ+」は、学校の行事の様子、写真、学校だより、給食だより、緊急情報など保護者にスマートフォン向けアプリとして提供する新しいツール。神戸市では来年度から新たな連絡ツール「すぐーる」を全ての学校で運用することで、学校だよりや行事案内を保護者にデータで配信、保護者が専用アプリで欠席や遅刻の連絡を入れたり、アンケートに回答等が可能となる環境を整えている。今後もICT技術を積極的に活用し、学校生活の様子を保護者に発信するような取り組みを充実させていきたい。

2. 拠点校部活動の充実について

平野達司 子供たちには、人間性や社会性を育むにあたって部活動は、非常に貴重な体験ができる場である。5年間で運動部は25部、文化部も18部減っている。拠点校部活動の充実のため1点目は、拠点校部活動の条件の原則として小学校の時に1年以上継続して経験したことがあること。いう条件を撤廃していただきたい。2点目は、拠点校部活動に文化部も追加していただきたい。

住谷次長 拠点校部活動について、現在は陸上、水泳の個人種目が9種目と、バスケットボールで合計10種目の運動部を実施。400名以上の生徒が活動中。今後の部活動の望ましいあり方を協議する中学校部活動懇話会において文化部の拠点校の活動の実施や小学校時における権限経験年数の条件の見直しについても今後議論を行い、検討していきたい。

平野達司 拠点校部活動の1年間という条件の撤廃や文化部の追加を議論いただき、その上でもう少し小さい会議体も必要ではないか。区単位、近隣中学校単位などで確認できる体制をとっていただき児童生徒の情報をしっかりと吸い上げ、文化部、運動部問わず、ニーズを把握していただいて幅広く部活動の間口を広げていただくようにしていただきたい。

長谷川事務局長 今後の部活動のあり方は保護者、運動部文化部の関係者から意見を取り入れることは非常に重要なことだ。部活動ガイドラインの実施状況や、その効果の検証を重点的に協議してきたが、今後の部活動の柔軟なやり方といった観点からは正直申し上げて十分な議論ができていなかった。部活動の望ましいあり方として生徒や保護者関係者からニーズを十分に酌み取った部活動にしていくためにどういった観点から改善していけばいいのか、検討していきたいと考えている。

3. 中学校給食の全員喫食に向けた取り組みについて

平野達司 中学校給食の来年度からの全員給食制への移行に向けた調査検討の開始について給食の準備にあたって廊下で配膳準備されている学校があった。動線が重なり、時間を要し生徒同士がぶつかってしまう。さらに食器を落とすトラブルがあった。課題が山積しているが、どのように解決しようとしているのか。



長田教育長 1日約3万7000食の給食を安定的に提供していくために、どのような方式で実施し、調理体制の確保などが大きな課題である。ご飯に加えておかず全体を温かい状態で提供するために、教室での配膳ということが必要。配膳のための時間、場所や動線についても十分検討していきたい。さらにアレルギーへの対応、地元食材のこれまで以上の利用の促進、献立内容のさらなる充実、などもあわせて検討していく。課題解決は、現在学校給食委員会の中で有識者、保護者代表、学校関係者等々において全員喫食性における実施方式の検討とあわせて幅広く議論を行う。今年の秋ごろまでに基本方針を策定したい。

平野達司 多くの課題があるが精力的に検討しできるだけ早く温かい給食ができるようお願いしたい。給食時間の確保、民間事業者の活用、センターの整備、アレルギーの対応も小学校と同様に別メニューの対応で、神戸のお米、神戸の野菜、また神戸のシラスなど地産地消の取り組みをぜひ進めていただきたい。

4. 神戸高専の認知度・魅力向上についても質疑いたしました。(質疑要旨は紙面上割愛します)

令和3年度予算事項における兵庫区での主だった内容

【健康・安全】

- ・みなとがわホールやイオンモール神戸南にて新型コロナウイルスワクチン集団接種を実施予定
- ・通学路や駅周辺に防犯カメラを設置。(118台設置予定)
- ・私道における街灯助成の拡充。(灯具2/3→10/10 上限11000円→20000円)
- ・兵庫消防署の新庁舎整備。(令和3年8月供用開始予定)

【こども・子育て・教育】

- ・イオンモール神戸南3Fにて“みんなの学び場”として、自習室と月替わり図書館の開設
- ・ノエビアスタジアム(御崎公園)広場にて青空図書を実施予定
- ・本年度もこどもプロジェクトの実施(実施団体選定中)
- ・こども食堂の現状9か所からのさらなる拡充(新たな主催者をこども家庭局にて募集)
- ・兵庫消防署屋上に緑化遊び場を設置(令和3年8月)
- ・保育所・認定こども園の新設。(大慈さち小規模保育園定員19名:令和3年4月開園予定)
(湊山小学校跡地の小規模保育園:令和4年4月開園予定)
- ・こべっこランド・こども家庭センターの開所。(令和4年春頃)
- ・夏休み期間等の学童保育時間を繰り上げ。(令和3年度13箇所全ての施設を8時に)

【街づくり・観光】

- ・県立兵庫津ミュージアム開館に合わせ、周辺整備、古代大輪田泊の石椋周辺整備、西国街道のAR等の活用、兵庫津観光PR動画活用魅力発信。
- ・みんなのバス
利便性向上として、川崎病院バス停、湊川隧道バス停、兵庫区役所前(南行)を新たに設置し、ルートを充実。(令和3年5月予定)
- ・兵庫区における農業体験場所の新設(平野展望公園・ノエスタ農園)
- ・ストリートピアノを中央市場前駅、和田岬駅、イオンモールに設置。
- ・和田岬駅の改札階を改修予定(こべっこランド・こども家庭センターの開所に合わせて)。



平野展望公園
農業体験施設準備中



【施設向上】

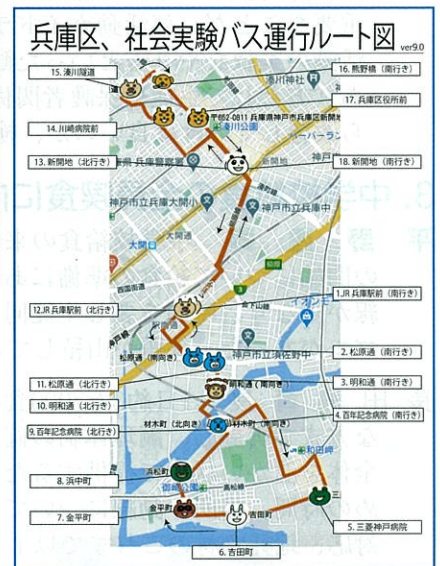
- ・区内全ての地域福祉センターに、公衆Wi-Fi(無線LAN)を整備。
- ・神戸アートビレッジセンターの活用促進。
市民が日常的に訪れ利用できる機能を付加。若手アーティスト作品展示・販売の場所を提供。



みんなのバス
右記のバス運行ルートは
令和3年5月に更新されます

【行政改革】

- ・兵庫区役所の窓口業務を委託予定
市民課(令和3年10月委託予定)
保険年金医療課(令和4年4月委託予定)
- ・おくやみコーナーのワンストップ化として、
令和4年4月に保険年金医療課(4F)の窓口業務委託時に移設。



神戸市会議員平野達司(たつじ)事務所
神戸市兵庫区東山町2丁目8-61マルシン市場2F
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじ HP



平野たつじ Facebook
神戸市の情報をお伝えいたします。

神戸市会の
本議会、委員会を
インターネットにて
閲覧できます。



神戸市会

市政報告 (須磨区版)

あだち和彦

コロナ禍による 困窮する全ての中小事業者に支援を!!

令和3年第1回定例会市会2月議会において、市長及び副市長に対して予算質疑を行いましたので、ご報告(要旨抜粋)をさせて戴きます。この度の私の質疑に対する久元市長の答弁で、神戸市独自のさらなる経済対策として中小事業所税の減免を明らかにされました。

▶ コロナ禍におけるさらなる経済対策について

Q【安達議員】 緊急事態宣言に伴う経済対策として、市独自で「家賃サポート緊急一時金」を創設するなど、神戸市独自で様々な支援策を講じていることを評価しています。

しかしながら、「家賃サポート緊急一時金」をもってしても、お店や会社の建物が自己所有の場合、対象から外れてしまう。コロナ禍による困窮する全ての中小事業者に公平に支援の手を差し伸べるべきと考える。

そこで、もう一步踏み込んで戴き、より幅広い業種・事業者への支援を行っていることを示すためにも、さらなる支援策を講じて戴きたい。

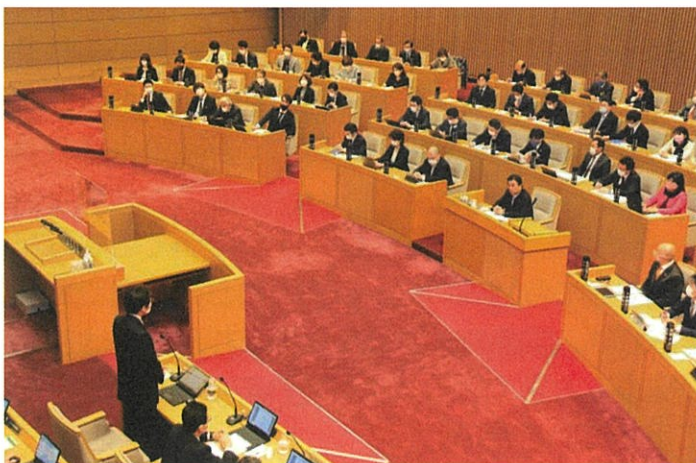
A【久元市長】 緊急事態宣言の発令を受け、県・市協調による感染拡大防止協力金、国の中小事業者に対する一時支援金に加えて、市独自の「家賃サポート緊急一時金」の補正予算案を提出させて戴いた。

これに加えてさらなるご支援をとということにつきまして、売上や利益の増減に拘わらず負担が生じる事業所税を減免出来ないか考えています。

具体的には、今年1月から3月において、売上げが30%以上減少している中小事業者の内、資本金が1億円以下の事業者を対象に、特例的な措置として1か月相当分の事業所税を減免したい。



市長に対しさらなる経済対策をせまる安達議員



25日の市会本会議の代表

質疑で、自民党の安達和彦議員は「家賃を払わない事業者が支援対象から外れてしまう」と中小企業への追加の支援策を求めた。これに対し、久元市長は「事業所税は売り上げや利益の増減に関係なく負担が生じている。(減免は)特例的な措置だが、早急に詳細な制度設計を進める」と応じた。

▶ 成人お祝いの会について

Q【安達議員】 中止・リモート開催、そして延期と、成人式を迎えるご本人は勿論のこと、ご家族、美容業界・呉服業界・写真業界等々、大混乱する事態となりました。中止という最悪の選択は避けられ、延期と決まったが、是非とも神戸ならではの記憶に残る「成人お祝いの会」にして戴くことを強く要望しておきます。

また5月3日への延期についても、議会からの指摘等により延期されたにも係わらず、議会には何の話もなく、全く突然に開催日が報道された。この度の当初予算事項なども先行して報道されることも頻発しています。政策に係る重要な情報の管理について、議会への対応、市民への広報の在り方に改善すべき点がないか伺います。

A【今西副市長】 若者にとって非常に大切なイベントであり、議会からも要望を受けていた「成人お祝いの会」について、コロナ禍で緊急な判断を迫られたとはいえ、市民・事業者等に情報を適切に届けることができず、混乱をきたしたと、申し訳なく思う。

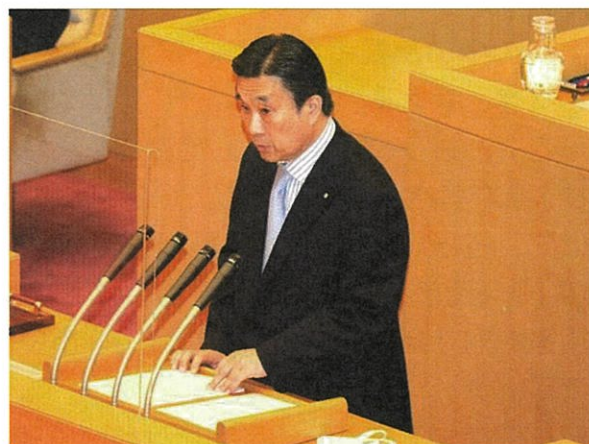
議員ご指摘のとおり、市政に係る情報の適切な管理については重要と考えており、今後これまで以上に、庁内のみならず外部の関係者にも情報管理を徹底し、重要な施策については会見等で発表するなど、より効果的な広報に努めていきたい。

▶ こども・若者ケアラー支援について

Q【安達議員】 2019年10月、介護に疲れた当時21歳の幼稚園教諭が思い余って、祖母を殺害するという痛ましい事件が起こったことを受け、久元市長が対策の必要性を痛感され、全国的にもまだ例のない『(こども・若者ケアラー)相談・支援窓口』を設置することは、誠に時期を得た決断であると評価を致します。行政としてどう関わっていかうとしているのか伺います。

A【久元市長】 こども・若者ケアラー本人も相談が来、こども・若者ケアラーが発するサインに気付いたその周辺にいる人たちも相談できる窓口をつくり、個別の

ケースに応じて、関係者による子の世帯の見守りや、障害福祉サービスや介護保険サービスといった既存の支援制度を組み合わせ、ケアに係る負担の軽減を図っていきたい。



▶ 西市民病院の今後のあり方について

Q【安達議員】 「西市民病院のあり方検討に係る有識者会議」が設置され、施設の老朽化や狭隘化といった課題を抱える中で、市街地西部の中核病院としてのあり方について検討が進められている。3月1日の4回目の有識者会議では、診療機能・診療科・病床数の議論に加え、現地建替や移転新築といった施設そのものの再整備について議論がなされると聞いているが、有識者会議の進捗状況について伺います。

A【恩田副市長】 再整備の方向性につきまして、西市民病院はおおむね10年後までには再整備が必要な施設だというふうにご考えてございまして、現在の敷地内には、ご案内のとおり空き地がないということで、建て替えや大規模改修を行う場合には、診療の大部分を長期にわたり停止する必要があるところをございまして、市民への影響が極めて大きくなると考えられてございまして、有識者会議での意見も踏まえまして、方針を具体的に示していきたい。

【要望・安達議員】 西市民病院は非常に特徴のある病院だと私は思っています。利用者の大半が、兵庫、長田、須磨区民ですので、移転ということになりました折も、やはり兵庫、長田、須磨の3区の利用者が多いということを考えていただいて、真ん中の長田にあり続けるということが、非常に大きな意味があると思います。

▶ まちづくりに特化したマネジメント体制の構築について

Q【安達議員】 人口減少・超高齢社会、また外国人人材の育成・雇用などこれまでなかった要素を取り入れたまちづくりが求められている中、海と山に囲まれた神戸の良さを最大限生かし、全市民的な視点でのまちづくりを進める為にも、本市や外郭団体の再編も含め、スピード感を持って戦略的に取り組むことが出来るまちづくりに特化したマネジメント組織や体制を構築すべきと考えますが。

A【久元市長】 行政が民間の投資を誘発していくような取組。そして、民間でもマーケットのリサーチをしっかりと行っていくということが必要ではないか。かつてのように外郭団体が自ら事業を行うというやり方ではないマネジメントの手法、民間開発に関する情報収集、あるいは老朽化したビル、民間の土地利用をより高度化させることを誘導していくような、官民連携の仕掛けという、そういう観点からの新たなマネジメント機能を担う団体を設立し、しっかり連携して戦略的なまちづくりを進める。

▶ ウォーターフロントの賑わい創出について

Q【安達議員】 今や神戸の夏にはなくてはならない行事の一つとなっている「みなとこうべ海上花火大会」ですが、今の形のままで継続開催は今後難しくなるのではないかと考えます。令和3年度予算案に、5千万円が計上され「with コロナ時代における新しい分散型花火イベント」として、秋頃平日5日間10分程度の花火を打ち上げるとなっており、コロナ禍で苦境にある宿泊事業者や飲食・物販事業者への経済的な支援にも繋がる側面もあり、大いに期待をしています。今回の実証を踏まえて通年開催を目指すとともに、民間事業者のアイデアや資金の活用など安定的な開催に向けた仕組みを検討すべきと考えます。

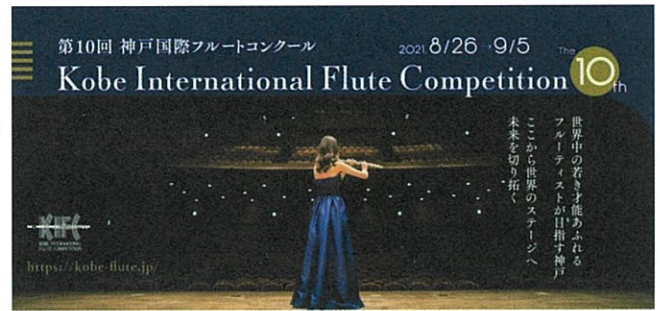
ウォーターフロントに於けるイベントや賑わい創出の取り組みが分散的では十分な効果は期待出来ない。民間事業者と連携して、四季を通じて一体的に取り組んでいくべきではないか。

A【久元市長】 周辺のホテルや商業施設への波及効果、安定的なスポンサー獲得、陸上・海上の安全対策に関する開催経費の低減など、幾つか重要な課題があります。今回の実証を通じて、開催日数の拡大についても検討をしていきたいと考えております。その中で、例えば民間主催の花火イベントやイルミネーションイベントの開催など、民間事業者の資金やアイデアの活用も検討していきたい。ウォーターフロント全体の賑わい創出を図っていく上では、民間事業者を含めたイベント開催の取り組みが、分散的ではご指摘のとおり十分な効果は期待できません。今後、設立予定のウォーターフロントエリア全体をマネジメントする新会社とともに、エリア内の民間事業者と連携を強め、四季を通じたウォーターフロントエリアのにぎわい創出の取組が効果的になるよう、官民一体で取り組んでいきたい。



▶ 「第10回神戸国際フルートコンクール」について

Q【安達議員】 今年2021年は「第10回神戸国際フルートコンクール」の開催年であります。新型コロナウイルスの影響により、様々な大型事業が中止や延期、規模縮小などを余儀なくされている中、第10回大会の申し込みが既に開始されており、受付期間も延長されていると聞いています。まだ先行き不透明な状況が続くと思われるが、本番まであと半年となる中、第10回大会の開催について市としてはどのように考えておられるのか。



A【久元市長】 第10回神戸国際フルートコンクールは、令和3年8月26日から9月5日にかけて開催を予定しております。新型コロナウイルス感染症が、世界中で広がりを見せている中ではありますけれども、本市では昨年、第10回のフルートコンクールの開催方針を発表いたしました。神戸市としてこのコンクールを開催することで、世界中の音楽を志す若者に門戸を開き、音楽関係者をはじめ、多くの方々に希望を与えることができるような大会にしたい。

▶ プラスチック資源循環戦略について

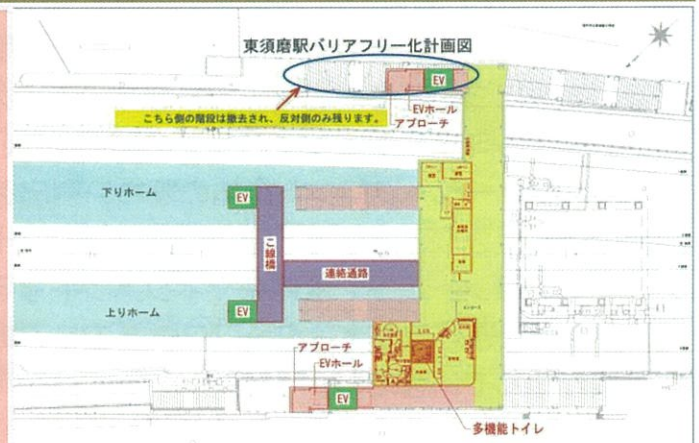
Q【安達議員】 プラスチックが海洋環境に流出するなど地球規模での環境汚染が懸念される中、アジア各国による輸入規制も拡大しており、これまで以上に国内資源循環が求められています。国が掲げる「プラスチック資源循環戦略」では、日本国内のプラスチックを巡る資源・環境両面の課題を解決するだけでなく、我が国の持つ技術・イノベーション、環境インフラを世界全体にも広げ、資源循環関連産業の発展を通じた経済成長・雇用創出など、新たな成長の源泉にも繋げていくものとしている。世界をもリードする循環社会を先導していく為には、現在も分別に全面的に協力してくれている多くの市民が理解し、共感出来る新しい取り組みを始めるべきと考えますが。

A【今西副市長】 多種多様な素材で構成をされます容器包装プラスチックは、リサイクルのための選別等の中間処理に、年間約3億円の経費がかかるとともに、リサイクルできない多くの残渣も発生しており、プラスチックとして材料リサイクルされるものは約4分の1に過ぎない。議員からご指摘をいただきましたように、国が今年1月にまとめましたプラスチック資源循環施策の在り方の中では、廃棄段階まで見据えたライフサイクルの環境負荷を低減する設計に、一層取り組むことなどが盛り込まれているところがございます。大きな考え方の転換を促すものである。本市では、より進んだ施策を推進していきたいと考えている。

Topics Suma

山陽電鉄東須磨駅 バリアフリー化

地元住民の長年の願いでありました東須磨駅のバリアフリー化（エレベーター4基設置）の工事が、令和5年1月頃完成予定を目途に、いよいよ始まります。



令和3年度予算の審議で 福祉局・危機管理室・消防局を 担当しました。



▲福祉局審査の様子

▲危機管理室・
消防局審査の様子

詳しくは中面をご覧ください

ご挨拶

お世話になっております、山口由美です。

コロナ禍となり、1年が経過しました。最前線に対応されている方々、私たちの生活を支えていただいている方々のためにも、しっかりと感染対策を行い続けることが大切だと感じております。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

私はこんな時だからこそ前向きに、元気に活動するように心がけています。今回は、感染対策を行いながらの議会活動を報告させていただきます。私にできることは限られますが、自分の役割をしっかりと果たしていきたいと思っております。

今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。

新型コロナワクチン接種コールセンター ☎078-277-3320 受付時間：平日(月～金) 8:30～20:00 休日(土日祝) 8:30～17:30



作成者

山口 由美

神戸市議員
西区選出4期目

ご意見・
ご感想は…

山口由美市政事務所 TEL/FAX 078-777-6933
E-mail.yamaguchi@yumiguma.com



Topics 1

山口由美の市政への提案



その1

新型コロナウイルス感染症対策の検証



昨年7月に第1次対応検証を行い、報告書が公表されました。第2・3波の教訓を今後に生かすため、新たに検証を行うべきでは？

山口

見直しが必要なこと、新たに検証が必要がないか庁内で早急に評価検証したいです。



危機管理監

3月12日 第2次検証スタート!

その2

災害時の避難行動要支援者対策



高齢者・障がい者・外国人など、災害時の避難行動に支援が必要な方々への対策を地域防災計画に位置づけるべきでは？

山口

現状の対策を検証し、よりよいものを計画に位置づけていきたいです。



危機管理監



昨年6月から実施している「ホテル等避難の宿泊費助成制度」については対象者を再検討するべきでは？

山口

福祉関係部局に相談し、よりよい制度にしていきたいです。



危機管理室長



高齢者・障がい者などが利用する要配慮者施設において提出が義務付けられている避難確保計画の提出率が低調ですが…

山口

来年度末に提出率100%を目指して取り組みを進めていきたいです。



危機管理室長



要支援者の防災意識向上を促す取り組みも必要では？

山口

来年度は新たに、災害避難情報などを書き込み、携帯できるカードを作成し、障がい者に配布するなど、防災意識の向上にも努めたい。



福祉局長

西区内の障がい者やご家族の相談窓口

現名称	R3.4~新名称	連絡先	
ひらのせいしん 障害者地域生活支援センター	ひらのせいしん障害者相談支援センター 災害時支援拠点でもある 西区障害者地域生活支援拠点も併設!!	☎ 078-962-5512 FAX 078-962-5540	平日 9:00~19:00 土曜日・日曜日・祝日 9:00~17:00
にし 障害者地域生活支援センター	にしこうべ 障害者相談支援センター	☎ 078-996-9820 FAX 078-996-9821	
たまつあげほの 障害者地域生活支援センター	たまつあげほの 障害者相談支援センター	☎ 078-927-4171 FAX 078-927-4172	平日 9:00~19:00

お住まいのエリアに関わらずご相談いただけます。※ FAXは翌日対応になることがあります。

その3

障がい福祉分野のICT化

障がい者手帳

スマホアプリ活用



ミライロIDを本人確認機能として今年4月から神戸市バスや地下鉄で導入します。市有施設でも早期に導入したいです。



市長

自民党

障がい者手帳の一部の機能をスマホアプリで代用できる新しい取り組みの導入を!

その4

救急現場におけるDNAR(心肺蘇生を望まないケース)への対応



2年前から問題提起しており、国の方でも動きがあったようですが、神戸市ではどのような動きになっていますか？

山口

神戸市では傷病者のご家族から蘇生拒否の意思が示されるケースが増えていることもあり、来年度、メディカルコントロール協議会にDNARに関するワーキンググループを設置し、方針を検討することになりました。



消防局長

Topics 2

令和3年度の西神中央駅周辺の動き

その1

西区役所新庁舎



工事は順調に進み、あと1年ほどで移転される予定です。庁内のユニバーサルデザイン、西神中央駅周辺からのアクセス改善など専門家の意見を聞きながら、要望しています。



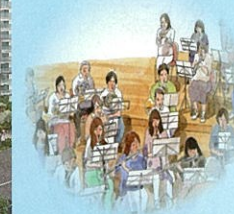
山口

その2

文化・芸術ホールと新西図書館



無事に工事が始まり、あと1年半ほどでオープン予定です。ホール等利用者のアクセスに加え、周辺住民の移動がより快適になるように、バリアフリーの観点からの要望をしています。



※ 西神中央駅前では様々な工事が始まります。ご理解・ご協力をお願いします!

Topics

3

学園都市駅周辺の動き

その1

学園東町「にじ色バス」試験運行中!

今年1月10日に出発式が行われ、試験運行が開始されましたが、緊急事態宣言発令により、まもなく運行休止。
3月8日から再開し、3月31日まで試験運行しています。
来年度は第2回試験運行が行われる予定です。
学園都市にお越しの際には、ぜひご利用ください!

● 運賃：大人 210円
小児 110円
運行ルート・運行ダイヤは
こちらから →



その2

キャンパススクエア東館バリアフリー化

かねてよりお願いしていましたが、無事にバリアフリー改修が終わり、お手洗いやエレベーターが使用できるようになりました。OMこうべの皆様、ご理解をいただき、ありがとうございました!



▲エレベーターの新設



▲トイレのバリアフリー改修



▲多目的トイレの新設

Topics

4

市民の皆様からのご意見・ご要望

その1

がん患者の支援

美容師
女性

お客様の中で、抗がん剤の副作用による脱毛症状に心を痛めておられる方と出会うことがあります。神戸市として、医療用ウィッグの購入費助成の制度を作ってもらえないでしょうか。

来年度、がん患者支援の制度ができることになりました。医療用に限らず、ウィッグ購入費の半額を上限5万円まで助成する制度になりそうです。開始時期は未定ですが、できるだけ早く始めていただけるようお願いしています。



山口

その2

ローンボウルの普及支援



男性

認定NPO法人ローンボウルズ日本の事務局のものです。ローンボウルズは老若男女、障がいの有無にかかわらず誰もが一緒にできるスポーツです。神戸市民の皆さんにもっと体験していただきたいです。

しあわせの村などで活動されていることは知っていました。微力ながらご協力したいです。



山口



“ローンボウルズ”を、体験してみませんか。双方が目標球を目掛けてボウルを転がし、目標球に近づいた方が勝ちという簡単なルールです。経験のない方でもすぐに楽しむことができます。
※障がいの有無、性別、年齢は問いません。

- 場所：兵庫県立障害者スポーツ交流館 (西区曙町1070)
- 日時：毎週火曜日13時～17時(変更有)
- 問合せ先
bowlsjapan-jimukyoku@hwlb.com
認定NPO法人ローンボウルズ日本
障がい者LB部 澤田



私たち自由民主党神戸市会議員団は、令和3年3月17日に令和3年度神戸市各会計予算案並びに関連議案を承認する意見表明を行いました。令和3年度予算案の概要と、令和3年2月25日に市会本会議にて行いました代表質疑の内容をお知らせします。裏面は、今年度の所属議員の議会での活動をお伝えしております。

令和3年度神戸市予算の規模と主な概要

予算の規模

	令和3年度	令和2年度	増△減	伸率(%)
一般会計	8,704 億円	8,387 億円	317 億円	3.8%
特別会計	6,535 億円	6,708 億円	△173 億円	△2.6%
企業会計	3,292 億円	3,497 億円	△205 億円	△5.9%
合計	18,531 億円	18,592 億円	△61 億円	△0.3%

新型コロナウイルス感染症

対応予算 (2月補正含む)

221 億円

- ▶ 感染防止対策・医療提供体制の安定的確保 161 億円
- ▶ 市民への支援・新しい生活様式への対応 25 億円
- ▶ 市内事業者への支援 35 億円

新型コロナウイルス感染症対策

- 新型コロナウイルスワクチンの接種
- PCR検査体制、保健所の体制、相談体制を強化
- こうべ病院安心サポートプランなど医療機関支援
- コロナ患者診療の遠隔ICUシステムの導入 **全国初**
- キャッシュレスポイント還元事業
- 家賃サポート緊急一時金 **神戸市独自**

健康・安全を守る

- こども・若者ケアラーへの支援
- がん患者へのアピアランスケア支援
- 介護・障害福祉サービス事業所の働きやすい職場
- 外国人介護人材の受け入れ促進
- 私道の街灯助成を拡充・防犯カメラの直営設置
- 避難所の空調整備、間仕切りテントなど感染症対策

輝くこどもたちの未来を創る

- 特定不妊治療費助成の拡充
- 多胎児家庭・多子世帯への支援
- 病児保育事業の充実・産後ケア事業訪問型の実施
- 全員喫食に向けた温かい中学校給食の推進
- 経済的な事業を抱える学生等への学習支援
- こども食堂の拡充によるこどもの居場所づくり

神戸経済を伸ばす

- 西神戸ゴルフ場の転活用による産業用地の供給
- ローカルフードの魅力発信等「食都神戸」の推進
- イノベーション創出拠点の開設・運営
- 女性の「働く」をサポート、キャリアアップ等支援
- 神戸医療産業都市、神戸デジタルヘルスの推進

街と地域を創る

- バスターミナルの整備等、都心・三宮の再整備
- ウォーターフロントの魅力向上、賑わいづくり
- 駅周辺のリノベーション(神戸、名谷、西神中央等)
- 神戸電鉄沿線、地下鉄海岸線沿線の活性化
- 里山・農村地域等の活性化と地方回帰への対応
- 五色塚古墳の整備等、芸術文化・スポーツの振興

陸・海・空の拠点を創る

- アジア広域集貨促進等、国際コンテナ戦略港湾の推進
- 大阪湾岸道路西伸部の事業促進
- ポートアイランド・神戸空港へのアクセス向上

市政改革を進める

- 行政手続きのスマート化等、市民サービスの向上
- 組織改正により、コロナ対策強化・こどもの未来を応援等

私たちは感染拡大の防止対策と市民生活の安全・経済の再生に全力で取り組んでいます!



自由民主党神戸市会議員団 TEL.078-322-5846

Liberal Democratic Party of KOBE

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号
HPアドレス <http://www.jimin-kobe.com/>



代表質疑の主な内容

会派を代表して、安達・守屋・植中議員より、質疑を行いました。

【コロナ禍に於ける経済対策】

安達和彦

安達和彦 議員：市独自で「家賃サポート緊急一時金」を創設され、評価しているが、この「家賃サポート緊急一時金」をもってしても、お店や会社の建物が自己所有の場合支援対象から外れる。もう一步踏み込んで神戸市ではより幅広い業種、事業者への支援を行っていることを示す為にも、さらなる支援策を講じて戴きたい。

久元喜造 市長：緊急事態宣言の発令を受け、県・市協調による感染拡大防止協力金、国の中小事業者に対する一時支援金に加えて、市独自の家賃サポート緊急一時金の補正予算案を提出させて戴いた。

これに加えてさらなるご支援をということにつきまして、売上げや利益の増減に拘わらず負担が生じる事業所税を減免出来ないか考えています。

具体的には、今年1月から3月において、売上げが30%以上減少している中小事業者の内、資本金が1億円以下の事業者を対象に特例的な措置として1か月相当分の事業所税を減免したい。

【新型コロナウイルス感染症の医療提供体制について】

守屋隆司

守屋隆司 議員：ワクチンの優先接種について、介護施設職員も医療従事者と同様に、優先接種の対象とすべきでないか。

久元喜造 市長：高齢者施設の従事者についても高齢者と同じく優先的接種を受けて頂く予定。

守屋隆司 議員：転院先の病床確保についてはどうか。

久元喜造 市長：市では民間病院協会等に対し、転院受入れの協力を依頼、受け入れ体制を整えたところです。

守屋隆司 議員：コロナに起因する偏見・差別の防止について。

久元喜造 市長：偏見・差別等の防止の対策については、感染に関する誤解・偏見に基づく差別・誹謗中傷がないよう正確な情報を提供していく。

守屋隆司 議員：経営が厳しい中小事業者への経済支援策についてはどうか。

久元喜造 市長：事業者目線で、中小事業者の一層の資金繰り支援に取り組みます。

守屋隆司 議員：都心三宮のバスターミナル整備、三宮周辺に分散している中・長距離バス乗降場の集約を実現できるのか。

久元喜造 市長：可能な限り降車場所を1期の乗車場所周辺に集約する。

【福祉サービスの利便性向上について】

植中雅子

植中雅子 議員：コロナ禍における相談支援の役割は大きい。他の政令都市に大きく遅れている相談支援体制を早期に強化し、障害者が安心して暮らせるまちを目指すべきではないか。

久元喜造 市長：神戸市内の相談支援は令和6年度までに100人増員したいが資格を得るための法定研修がコロナ禍のため延期され、資格者は例年の25%程度しかない。今後、令和3年度の国の報酬改定を活用し相談体制の強化を図っていきたい。

植中雅子 議員：障害福祉分野においてもICTを活用し、各種手続きや公共交通・公共施設での利便性向上や、社会参加の促進に取り組むべきではないか。

久元喜造 市長：障害者手帳の代替手段として、現在、マイナポータルとの連携スマホアプリ『ミライロID』の導入検討を進め、将来的に様々な障害福祉サービスの手続きが行われることにより障害者の心理的負担の軽減や社会参加の促進につながると考えている。神戸市交通局（市バス・地下鉄）では本年4月から導入予定であり、市有施設でも早期導入予定である。

多くの皆様の善意をかたちに！ ご支援くださった皆様に感謝致します！

私たち自由民主党神戸市議員団は、各種団体・企業・個人の皆様から、新型コロナウイルス感染症対応の前線でご尽力いただいている医療・介護関係者等の皆様に支援したいとの相談を多数いただきました。議員団として神戸市当局をはじめ各医療機関、老人福祉施設等と調整をおこない、多くの善意をかたちにすることができました。



支援品 目録（一例）

支援金 50,304,500円	消毒液 1,920ℓ	エアロゾルボックス 100個
マスク 935,000枚	防護服 4,500枚	軽症者用搬送車 5台（無償提供）
医療用手袋および感染予防手袋 15,000双		ビッグマックセットクーポン 20,000枚
ゴーグル 500個	フェイスシールド 2,360個	神戸産いちご 100キロ
クリアパーティション 150枚		携帯ストラップ 1,100個

善意の支援品等は神戸市、こうべ医療支援ファンド、神戸市立医療センター中央市民病院を始め各医療機関、老人福祉施設、保育施設、児童養護施設等に届けられました。

自由民主党神戸市議員団は新型コロナウイルス感染症への対応についてそれぞれの議員が市民の皆様からいただいた要望を精査し、4度にわたり久元市長へ要望いたしました。その多くの事項について予算化することができました。

新型コロナに関するお問い合わせは

神戸市電話相談窓口（24時間受付・多言語対応可）
新型コロナウイルス専用健康相談窓口 078-322-6250

ワクチン接種に関するお問い合わせは

新型コロナ ワクチン接種コールセンター 078-277-3320
受付時間：平日（月～金）8:30～20:00 休日（土日祝）8:30～17:30

自由民主党神戸市会議員団

令和2~3年の議会活動を中心に
ご報告致します。

活動だより

神鉄沿線の各駅のリノベーションが始動へ

Q：我が会派の提案と久元市長の英断で北神急行市営化（運賃値下げ）が実現した。次に企業誘致や人口誘引につなげるため以前から要望している谷上駅周辺未利用地の有効活用、岡場駅はじめ沿線の駅や駅前での一般車の乗降スペースを整備する等、駅整備を進めるべきだがどうか。

【久元市長】神鉄沿線の駅、駅前については利用しやすい駅前の公共空間の早期実現に向けて取り組んでいきたいと考えます。



令和2年12月7日
本会議にて一般質問

北区 坊 やすなが 自由民主党神戸市会議員団 幹事長

港湾局コロナ変異株の防疫体制と津波対策

Q：神戸市長のコロナ変異株の拡大報告は評価が高い。エイズの例もあり港町として海と空の防疫対策は。また、南海トラフに対して津波高潮対策はできているのか。

A：検疫所、出入国在留管理局、税関と危機管理室と共に水際対策をする。

津波高潮対策は、24時間監視し、全市の防潮鉄扉は30分以内に閉まるシステムを令和6年度に完成させ、停電対策も確立し、閉鎖体制を構築する予定です。



令和3年3月3日
予算特別委員会にて

東灘区 安井としひこ 自由民主党神戸市会議員団 相談役

名谷パティオホールの料金値下げを実現

Q：昨年の本会議において須磨区の人口は北須磨支所管内の方が多く、今後、名谷地域の文化機能としてパティオホールを文化センターと位置付けるのであれば、利用料金についても同様にすべきと質問した。久元市長からは「利用料金の見直しを考えた」との答弁だったが、現在の検討状況は？

A：4月から須磨区文化センター大ホールと同等の利用料金に値下げします！



令和3年3月4日
予算特別委員会にて

須磨区 むらの誠一 都市交通委員会 委員

災害時の避難行動要支援者対策について

【山口】：高齢者・障がい者・外国人など、災害時の避難行動に支援が必要な方々への対策を地域防災計画に位置付け、具体的な対策も充実すべきでは。

【福祉局長】：来年度は新たに、災害避難情報などを書き込み、携帯できるカードを作成し、障がい者に配布するなど、防災意識の向上にも努めたい。



令和3年3月4日・9日
予算特別委員会にて

西区 山口 由美 市会運営委員会 委員長

神戸に国際金融センターの誘致を！

【かわなみ】：香港情勢を踏まえ国際金融都市を関西にという声が大きくなりつつある。神戸市としても積極的に取り組むべきだ。医療産業都市、デジタル庁とも協働の可能性がある。

【今西副市長】：国際金融センターは、雇用・産業の創出、情報の集積など非常に大きな効果がある。まだ全体像は出てきてないが、経済界とも連携しながら国に対する働きかけは積極的に行っていきたい。



令和2年12月7日
本会議にて一般質問

中央区 かわなみ忠一 自由民主党神戸市会議員団 政調会長

学校施設を地域に対してより開放せよ

Q：学校施設には、教室、グラウンドや体育館などが、地域にとっても利用価値の高い施設がたくさんあるが、十分に地域に有効活用されているとは言えない。地域でのオープン利用をもっと進めるべきだと思うがどうか。

【長谷川教育委員会事務局長】：開放時間の枠を今以上に広げるなど、今以上に幅広い皆さんに御利用いただける余地があるかと考えてございます。さらなる工夫を前向きに考えて参ります。



令和2年10月7日
決算特別委員会にて

北区 五島だいすけ 建設防災委員会 委員長

若年層への防災教育について

Q：小学校区単位で組織している防災福祉コミュニティは、世話役も訓練参加者も高齢化している。組織を息の長いものにする為に、若年層への防災の取り組みを推進するべきと考えるが。

【長岡消防局長】：子ども達への防災教育と地域の防災活動を連携させ、あらゆる世代が参加する地域一体となった防災活動を進める。現在21の防災ジュニアチームが活動中。



令和3年3月9日
予算特別委員会にて

北区 植中 雅子 福祉環境委員会 委員長

生活保護の不正受給撲滅とパチンコの排除！

生活保護の不正受給件数を質すと年間773件、うち刑事告発は6件のみと答弁。本来困窮した国民だけが受給すべきで、不正受給を絶対に許さない態度を取るべきと要請。次にギャンブル依存症の質疑ではパチンコが主たる相談内容と発覚。一番の依存症対策はパチンコを潰すこと。三店方式による換金性あるパチンコの実態は賭博と再認識し、違法化と撲滅を警察庁等国へ働きかけを要請。



令和2年第2回定例市会
福祉環境委員会にて

東灘区 うえはた のりひろ 自由民主党神戸市会議員団 副幹事長

子育て・教育の充実へ

子育て・教育の充実のために、子育てサークル支援含め子育て施策の充実、産後ケア事業の拡充、少子化対策にかかる今後の施策、軽度発達障害への対応強化、コロナ禍における学校の見える化（スマートシティ活用）、部活動における拠点校部活動の充実、中学校給食の全員喫食に向けて、予算質疑含め取り組んでいます。



令和3年3月5日
予算特別委員会にて

兵庫区 平野 達司 教育子ども委員会 委員

こども・若者ケアラー相談支援窓口について

Q：市長が必要性を痛感され、全国に先駆けて「こども・若者ケアラー相談支援窓口」を設置することは、時期を得た決断であると評価するが、行政としてどう関わっていくとしているのか。

A：こども若者ケアラー本人だけでなく、その周辺にいる人たちも相談できる窓口をつくり、個別のケースに応じて見守りや既存の支援制度を組み合わせ、ケアに係る負担の軽減を図っていききたい。



令和3年2月25日
本会議にて 代表質疑

須磨区 安達 和彦

自由民主党神戸市会議員団 団長

コロナ禍を乗り越えて明るい未来を実現へ!

人口減少社会に備える為、行政組織の最適化及び各種手続きの電子申請が必要になります。区役所等に出向いての紙ベースでの申請を極力パソコンやスマホで済ませることが可能となるよう予算特別委員会においてスマート都市実現について質疑いたしました。もちろんパソコンを利用しない方へは今まで通りの窓口対応の確保を求めました。



令和3年2月25日
本会議にて 代表質疑

兵庫区 守屋 隆司

関西広域連合議会 議員

スマート農業を機に神戸農業を更なる高みつなげる

スマート農業の展開、実証を踏まえ、後継者問題の解決への方策と神戸農業を日本一の展開へと高めるように導き、農村、里山暮らしの充実にも努める。神戸の観光農業を観光施策の一助として貢献できることを強力に進める。



令和3年3月8日
予算特別委員会にて

西区 坊池 正

教育こども委員会 委員

第114代神戸市会副議長として議長を補佐

昨年の本会議での副議長就任にあたっては「コロナ禍中で議会への期待は高まっている。積極的に施策を提案し、市民の信託に応えることが求められており一層の努力が必要」と述べさせていただきました。建設防災委員としては、安全な道路環境づくりや動物園リニューアルのマスタープラン作りなどを質疑。また、今年度要望してきたひとり親支援や多胎児への支援の新設などが令和3年予算で実現しています。



令和2年6月11日
第114代副議長就任 本会議にて

長田区 平井 真千子

神戸市会 第114代 副議長

道路のより良い環境整備に全力で取り組みます

Q：新垂水体育館への動線について、福田川交差点上の通学路でもある歩道橋を撤去するとかしないかという意見があるが、再度この動線の整備方法に関し、南側まで伸ばすなどバリアフリー化を検討すべきと考えるが。

【建設局長】：歩道橋は撤去しない方向でまずは考え、例えば、歩道橋の架け替えやエレベーターが設置できないかなど、様々なことでバリアフリー化できないか検討していきたい。



令和3年3月8日
予算特別委員会にて

垂水区 しらくに高太郎

総務財政委員会 委員長

学級崩壊という問題に真摯に向き合うために

Q：西区小学校で発生した学級崩壊問題は解決を見ないまま1年半にも及んだ。より迅速な対応があればと考えるがいかがか。

【長田教育長】：教育委員会と学校の連携と支援は表裏の関係と考えます。その為には学校の管理職がマネジメント力を十分に発揮しなければと思います。事態が深刻化する前に、初動段階で事務局へ相談をするよう、事務局も一層努めていきます。



令和3年3月5日
予算特別委員会にて

西区 山下てんせい

経済港湾委員会 副委員長

高丸IC前交差点の渋滞解消工事の2期へ

Q：高丸IC前交差点について、東側への車線拡幅工事が済み、渋滞が大幅に解消された。市民は大変喜んでいる。だが渋滞は完全には解消していない。西側拡幅、即ち2期工事に着手して欲しい。

【建設局】：岡田委員からも要請あった1期工事が完成し、渋滞はかなり改善された。2期工事については各地権者へ交渉を行っているが、折り合いがつかない。引き続き用地交渉を進めたい。



令和2年9月30日
決算特別委員会にて

垂水区 岡田 ゆうじ

総務財政委員会 委員

王子公園再整備、面としての賑わいづくり

Q：王子公園の再整備の流れ、水道筋商店街などを含めた面としての取り組みはどうか。再入場制度を導入して、近隣全体での賑わいづくりを率先して進めていくべきではないか。

【建設局長】：再整備は近隣からの意見も聞きつつ進める。R3年度に有識者会議を実施し、基本構想を策定、R4年度に大学公募と一部事業着手をする。G.W.明けから再入場制度を導入する。



令和3年3月8日
予算特別委員会にて

灘区 吉田 健吾

都市交通委員会 副委員長

神戸港の処理能力向上について

Q：神戸港で発生している渋滞問題について渋滞発生の原因を質疑しました。また、引き続き神戸港の競争力を維持するためにもETC設置後も減免制度の維持が必要と訴えました。

【港湾局】：要因は主に処理能力、滞留、ピーク時間の集中、また搬入処理票が紙ベースでゲート処理時間も関係しています。ハーバーハイウェイの減免は維持していく方向です。



令和3年3月3日
予算特別委員会にて

中央区 おかむら正之

建設防災委員会 委員

六甲アイランドAOIA跡地の有効活用を!

未利用地として神戸市に残された貴重なAOIA跡地。様々な民間事業者から活用方法が提案されていますが、決定まではまだしばらく時間がかかってしまいます。そこで、空地にしておくのではなく、島内にはホテルが2つあることなどを踏まえ、宿泊型イベントなど暫定利用を提案させて頂きました。令和3年度にはまずは周辺の歩道が整備され、有効活用に向けて動き出します!



令和2年10月6日
決算特別委員会にて

東灘区 大野 陽平

福祉環境委員会 委員

神戸市政報告

兵庫区版

まじめに働く方が、正しく報われる社会。

編集・発行:自由民主党神戸市会議員団兵庫区第2支部
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846
<http://www.jimin-kobe.com>



定例市会本会議で質問する守屋隆司

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員
兵庫区

守屋隆司

もり や たか し

令和3年2月25日 令和3年第1回定例市会本会議で代表質問を行いました。ウラ面に議事録(抜粋)を掲載いたしました。ぜひ、ご一読ください。▶▶

神戸市の予算 令和3年度

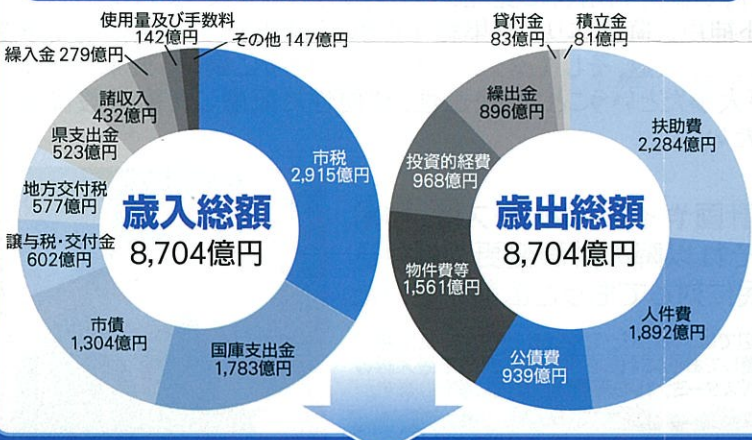
海と山が育むグローバル貢献都市の実現

令和3年度予算では、令和2年度2月補正とあわせ一体的に切れ目なく、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復に、最優先で取り組みます。また、都心部に近接した海や里山など神戸の豊かな資源を活かした人間らしい、あたたかみのある生活スタイルの創造と、安定した経済成長と市民所得の向上をめざし、公共空間のリノベーションや経済基盤の構築など、暮らしと都市の価値を高めることにより、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けて確かな歩みを進めていきます。

予算総額: 1兆8,531億円 (前年比:-60億円)

- 一般会計: 8,704億円(前年比:+317億円)
- 特別会計: 6,535億円(前年比:-173億円)
- 企業会計: 3,292億円(前年比:-204億円)

一般会計予算の概要



神戸市のお金の使い道(予算)をわかりやすく

一般会計の支出を 57 市民一人あたりにすると 57万円になります

福祉の充実に 23.3万円	教育・文化の振興に 9.3万円	環境・衛生の向上に 4.7万円
産業の振興に 0.8万円	住宅・まちづくりに 2.1万円	道路・公園に 3.4万円
消防・救急に 1.3万円	市会・区役所・市役所の行政の運営などに 5.9万円	市債の返済に 6.2万円

ごあいさつ

コロナ禍の中、皆様には日々ご苦労されている事と思います。心よりお見舞い申し上げます。ようやく緊急事態宣言が解除されましたが、収束には至っておりません。三密に気を付けながら、命と生活を守って行かなくてはなりません。

さて、神戸市会におきましては、「神戸市令和3年度当初予算案及び関連議案」の審査が行われました。コロナ対策の強化、積極的な経済対策、ワクチン接種体制の確立等市民が平穏な日常を取り戻せるよう積極的な予算提案され成立いたしました。

私も自民党神戸市会議員団を代表して代表質問に登壇いたしました。また、予算特別委員会分科会におきましては、「選挙管理委員会・行財政局・市長室・交通局」に質疑いたしました。本紙において、質疑要旨についてご報告させていただきます。

これからも、市民生活の安定、安心安全なまちづくり、持続可能な神戸市発展の礎を築くため、努力してまいります。

神戸市会議員 守屋隆司

市政報告 議事録抜粋

神戸市会予算特別委員会分科会において 局別審査を行いました

選挙管理委員会 令和3年3月1日

市長選挙の記号式投票に関する条例

■質問:守屋隆司
公職選挙法上は首長だけではなくて議員もできるということになっていますが、今回、市長だけを提案したというのはどうしてか。

■答弁:廣瀬選挙管理委員会事務局長
新しく採用する記号式投票を、まず、候補者数が少ない市長選挙で確実に実施し、効果や課題を検証した上で、将来的に市会議員の選挙に採用できるのかどうか検討したい。

行財政局 令和3年3月1日

行財政改革2025について

■質問:守屋隆司
この方針の柱の1つが行政手続のスマート化率70%と聞いています。実現に向けた取り組みについてお伺いしたい。

■答弁:小原行財政局長
生産年齢人口が減少する中で、行政手続のスマート化を最重要項目の1つとして位置づけています。電子申請化だけでなく、利用者の利便性の向上、職員の業務の生産性向上という観点から、最適化を図る手続も併せて実施していきたい。

■質問:守屋隆司
税務業務改革を進めるうえでは、市税のキャッシュレス決済を更に進めていくべき。

■答弁:筒井市長室長
①来庁を不要にする市民サービスの向上②業務の効率化③将来の全国的な効率化を見据えた標準パッケージシステム...この3本柱で頑張っていきたい。7年度までに約1万8,000時間の内部事務を効率化していきたい。



市長室 令和3年3月1日

国際交流の推進について

■質問:守屋隆司
神戸国際協力交流センターが再編・拡充された。その内容についてお聞きしたい。

■答弁:筒井市長室長
新長田駅から徒歩5分のアスタくまづかに本部拠点を移設。これに併せて、三宮駅、阪神御影駅近くの町なか近郊で新たな拠点を整備します。

■質問:守屋隆司
日本のシステムを勉強してもらうためにも留学生を区役所等採用してはどうか。

■答弁:筒井市長室長
区の実情に合わせ、要望があれば積極的にアシストして進めたい。

交通局 令和3年3月5日

■要望:守屋隆司
コロナ禍で経営状況が厳しい中であるから、なおさら運転マナー・サービスの向上に努めるべきではないか。関係機関と連携して市バス走行環境の改善に努めるべきである。

排出ガスが少ないクリーンなエンジンを搭載した車両に順次更新。さらに、CNGバス(圧縮天然ガスバス)やハイブリッドバスなど、低公害バスを導入しています。



答弁の詳細は、神戸市会のホームページで。

お知らせ

新型コロナ ワクチン接種 コールセンター開設

078-277-3320

E-mail: pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp

兵庫区集団接種会場 兵庫区役所/イオンモール神戸南(車で来場可)

受付時間 平日(月~金)/08:30~20:00
休日(土日祝)/08:30~17:30

相談内容 新型コロナウイルス接種に関する相談
●神戸市におけるワクチン接種のスケジュールに関する問い合わせ●ワクチンの接種を受けるための手続きに関する問い合わせ●接種券の送付に関する問い合わせ など

対応言語 日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語
※日本語以外は三者通話対応

ワクチン接種は無料です。お金はかかりません!



神戸市令和3年度当初予算に対する 自由民主党神戸市会議員団 代表質問

議事録抜粋

新型コロナウイルス感染症の医療提供体制について

①ワクチンの優先接種について

■質問:守屋隆司

介護福祉施設等の入居施設においてクラスターが発生し、一定期間職員が不足し、施設内において入居者への適切な介護ができない事態が発生していると伺います。高齢者や障害者に安心して生活支援を行うためにも、施設職員も医療従事者と同様に優先接種の対象となるよう、国に働きかけることが必要ではないでしょうか。仮にこれが困難としても、高齢者と同じく優先的に接種を行えるよう、本市としても取り組むべきと考えます。当局の御見解をお伺いします。

■答弁:久元市長

高齢者施設の従事者につきましては、施設内のクラスター対策のため、入所者と同じタイミングで接種できるとされており、神戸市におきましては、入所されている高齢者と同じく優先的に接種を受けていただきたいと思います。また、高齢者が入所する障害者支援施設や救護施設などの社会福祉施設におきましては、利用者に直接接する職員につきましては、基礎疾患を有する方と並んで、高齢者に次ぐ接種順位と位置づけられておりますので、優先接種の対象になるものと考えております。

②転院先の病床確保について

■質問:守屋隆司

新型コロナウイルス感染症患者による病床使用率は依然として高く、予断を許さない状況です。このたび、新型コロナウイルス感染症から回復した患者の転院を促すため、受入れ患者から院内感染が発生し、病棟閉鎖を強いられた場合に、損失を補填する本市独自の支援制度が設けられました。転院確保に向けた取り組みの状況はどうなっているか、お伺いしたい。

■答弁:久元市長

新規感染者の急激な増加、重症者の増加により、一時医療提供体制は危機的な状況になりました。退院基準を満たすものの、万が一の院内感染や、クラスター発生を恐れる医療機関が多く、この事が転院が進まない一因と考えられたことから、経営面への負担軽減など、安心して患者を受け入れていただく体制を整えました。取組の効果が現れていると考えています。今後、受入れ可能医療機関のリストの共有など、地域の実情に適した転院支援の仕組みを構築することが、病床の活用につながると考えておまして、民間病院協会など関係機関との協議を進めています。

③コロナに起因する偏見・差別等の防止について

■質問:守屋隆司

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、罹患者及びその家族、また医療従事者等に対して偏見や差別の被害がまだに生じています。本市においても防止に向けて、条例化の検討も含め、取組を強化するべきと考えます。当局の御見解をお伺いします。

■答弁:恩田副市長

まず、市のホームページで基礎知識を分かりやすく説明、偏見や差別の防止を訴えるポスター等を作成し、広報紙、デジタルサイネージ等で啓発しております。また、心のケア対策として、「精神保健福祉センターや区の保健福祉部で電話相談を行う」「医療従事者等への心の相談ダイヤルを設置をして電話相談を行う」「ハローワークで月2回、暮らしと心の総合相談会ということで、弁護士、公認心理士等の方々に、感染不安等の電話相談に応じていただく」ということをやっています。

中小事業者への経済支援策について

■質問:守屋隆司

新型コロナウイルスの影響を受けて、多くの事業者が経営状況の悪化に苦しんでいます。本市では、国や兵庫県と連携し、営業時間の短縮要請に応じた飲食店等に対して、感染防止協力金を支給していますが、これまでの売上げ実績にかかわらず、一律6万円を支給する制度には不公平感を訴える声が多く寄せられています。神戸市として市民の声、思いをぜひ国に伝えるべきと考えますが、御見解をお伺いいたします。

■答弁:久元市長

時短要請に伴う協力金につきましては、これを補完する上での家賃サポート緊急一

時金、事業所税の減免措置を行うこととしました。さらなる支援策について、国の支援がさらに拡充強化されるよう、提言・要望を行ってまいります。

中小事業者向け融資について

■質問:守屋隆司

経営状況の悪化に苦しむ中小企業を支援するために、実質無利子・無担保保証料で融資する新型コロナウイルス感染症対応資金制度が設けられました。これまでコロナの影響を考慮し、融資限度額を6,000万円に引き上げる等の対応を行っていますが、信用保証協会による信用補完に係る審査は、従来どおりの基準で実行されているため、事業継続のための融資を受けられない案件が発生しています。信用保証協会等に対して審査基準の弾力化を働きかけるべきです。当局の御見解をお伺いいたします。

■答弁:今西副市長

新型コロナウイルス感染症の拡大は、災害時と同等であると認識をしています。その上で、県そして信用保証協会と一緒に、事業者目線で、中小事業者の一層の資金繰り支援に取り組んでまいります。

三宮のバスターミナルの整備について

■質問:守屋隆司

三宮周辺に分散している中長距離バス乗降場を集約し、新たに整備するバスターミナルは、都心・三宮再整備の主要事業です。

令和8年度頃に完成を目指す1期完成時点での乗車バス数は5バスを予定しているとお伺いいたします。2期の事業が完成するまで、バスターミナルは片肺での運用とならざるを得ない。増設はできないのか。さらに、降車場完成形は2期事業の完成後です。乗車場所と降車場所の距離があまりに離れていることは、利用者に混乱を与えるのではないかと危惧します。降車場所も新バスターミナルに近い位置に移動させるべきだと思います。御見解をお伺いいたします。

■答弁:今西副市長

第1期完成時点で、乗車5バスと待機バスを加えた最大9バス程度を確保することができる見込みです。ミント神戸の既存の8バスに加え、17バス程度での運用開始を予定しています。その時点で、最も便数が多い四国・淡路方面を全て集約する方向です。

そうすると、三ノ宮駅周辺を発着する中長距離バスの乗車便のうち、約4割が1期完成時点において集約されることになり、整備効果が発揮されるかと考えています。

利用者にとっての分かりやすさを考え、乗車を集約することを優先的に考えてきましたが、御指摘のとおり、降車場所を乗車場所の近くに集約することも重要な視点でありますので、1期集約時点でどうしても乗車場所の近くに集約できないものは、案内や適切な誘導を行うなど、利用者に混乱を与えないよう努めてまいります。

2期の完成時、ミント神戸に降車エリアを集約するという計画です。降車は乗り継ぎニーズが高いということで、鉄道、そしてタクシー等に近い場所に集約。乗車は、ゆとりある待合というものが大事だということで、快適性、利便性に配慮した附帯設備を用意する場所に集約したい。

■要望:守屋隆司

最初に示された計画やイメージパースは、非常に夢がありました。それ以降の計画変更や絞り込み後の資料を、市民に対してもっと広報していただきたい。

三宮周辺では、1日当たり約1,651便の中・長距離バスが発着しており、これらを集約する西日本最大級の新たなバスターミナルを再整備ビル内に整備します。



※事業協力が作成したもので、そのまま実現されると決まったものではありません。



その他の要望

①エンジニアの人材の育成

プログラミングを学ぶ高校生・大学生等の若年層を対象としたエンジニア等の人材育成事業について、神戸市内にはエンジニア人材育成の能力と経験、実績を積み重ねている教育機関があります。その力を最大限活用されるよう強く要望いたします。

②衛生監視事務所の再編について

コロナ禍で苦しんでいる飲食店等の事業者へ、きめ細かな支援体制が求められる中、市民サービスの低下につながるかと危惧しています。組織改正後も市民サービスの低下を招かない取組、また体制の構築を要望します。

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員
兵庫区

守屋隆司 事務所
もり や たが し

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町1-7-12中山ビル1F
TEL:078-512-5722 FAX:078-512-5723 <http://www.jimin-kobe.com>

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができる場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。



市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の交付を受けてください。会議の始まる1時間前から先着順で受付します。

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。

神戸市会

神戸市政報告

編集・発行:
自由民主党神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846
<http://www.jimin-kobe.com>



予算特別委員会
で質問する
しらくに高太郎

総務財政委員会 委員長
神戸市議員
垂水区

しらくに高太郎

しらくに高太郎事務所/〒655-0013 神戸市垂水区福田2丁目3-16 TEL078-704-6060 FAX078-709-5252 info@shirakuni.net

特集 令和3年度予算特別委員会において、「建設局」「水道局」に対し、局別審査を行いました。ウラ面に議事録[抜粋]を掲載いたしましたので、ぜひ、ご一読ください。▶▶▶

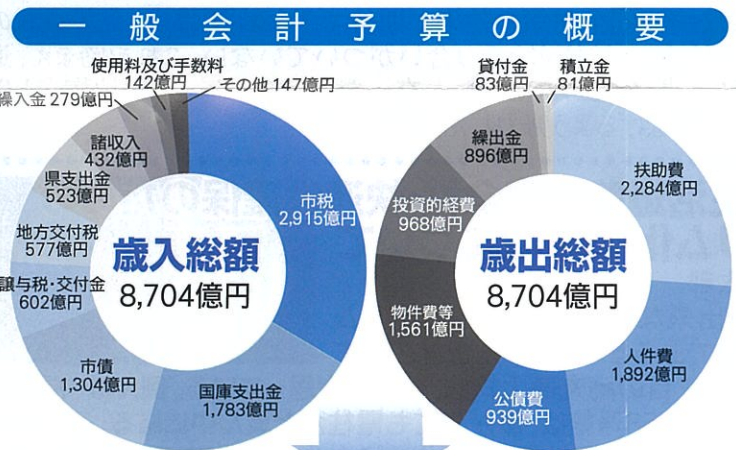
神戸市の予算 令和3年度

海と山が育むグローバル貢献都市の実現

令和3年度予算では、令和2年度2月補正とあわせ一体的に切れ目なく、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復に、最優先で取り組みます。また、都心部に近接した海や里山など神戸の豊かな資源を活かした人間らしい、あたたかみのある生活スタイルの創造と、安定した経済成長と市民所得の向上をめざし、公共空間のリノベーションや経済基盤の構築など、暮らしと都市の価値を高めることにより、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けて確かな歩みを進めていきます。

予算総額: 1兆8,531億円 (前年比:-60億円)

- 一般会計: 8,704億円(前年比:+317億円)
- 特別会計: 6,535億円(前年比:-173億円)
- 企業会計: 3,292億円(前年比:-204億円)



神戸市のお金の使い道(予算)をわかりやすく

一般会計の支出を 57万円にします

福祉の充実に 23.3万円	教育・文化の振興に 9.3万円	環境・衛生の向上に 4.7万円
産業の振興に 0.8万円	住宅・まちづくりに 2.1万円	道路・公園に 3.4万円
消防・救急に 1.3万円	市会・区役所・市役所の 行政の運営などに 5.9万円	市債の返済に 6.2万円

ごあいさつ

日頃からのご指導・ご支援に感謝申し上げます。今号では、主に令和3年度予算および予算特別委員会での質疑報告をさせていただきます。

さて、新型コロナウイルス感染症対策については、4月より1日のPCR検査数が682から1300検体に拡大され、また、発症予防効果が約95%とされているワクチン接種が始まります。また一方で、リバウンド(感染再拡大)も非常に心配されています。私達としては、国や神戸市からの正しい情報をもとに、健康に留意し、引き続き感染予防に共に取り組んでまいりましょう。

神戸市議員しらくに高太郎

市政報告

神和台に特15系統が回ります

これまで地元の方々が要望して参りました「神和台」でのバス路線について、4月1日より「特15系統(山陽バス)」が9時台から昼間時間帯に、1日5台程度で中型バスが入ることになりました。



今後、乗降客数を見ながら増便も検討されるとの事ですので、私も実情に応じ交通事業者に対し働き掛けて参りたいと思います。

名谷行 神和台口→神和台3丁目→神和台南公園前→神和台1丁目→名谷方面
青山台行 神和台3丁目→神和台南公園前→神和台1丁目→神和台口→青山台方面

市政報告

令和3年度予算案びに関連議案、 意見表明を行いました。

令和3年
3月17日

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復を最優先し、神戸市独自の支援策を創設するなど、市民の命と健康を守ることに取り組むとされている点は評価します。「行財政改革方針2025」に全力で取り組み、安定的な財政基盤を構築し、市民生活の利便性向上と豊かさにつながることを期待し、承認します。

要望事項

- 新垂水体育館への動線上にある福田川交差点の歩道橋のバリアフリー化を行うこと。
- 水道局垂水センターの統合は、垂水区及び西区の災害対応は万全であるとの実地検証を行い、その結果を公表すること。(その他合計14項目)

お知らせ

新型コロナワクチンの接種を 円滑に進めていきます。

必要とする全ての市民の皆さまにワクチンをお届けするため、「神戸市新型コロナワクチン接種連携本部」を設置し、円滑に迅速にワクチン接種を実施していきます。

接種スケジュール(予定)

国のワクチン供給予定を前提に、まず、65歳以上の高齢者(昭和32年4月1日以前生まれ)への優先接種を行い、次に基礎疾患のある人、その後、一般市民の皆さまに接種を行います。

- ① 4月下旬以降、高齢者に「接種券」を郵送
- ② 接種券が届いた人は、内容を確認のうえ、ご自身で「予約」
- ③ 高齢者への優先接種を開始する予定です。

留意事項

- 接種券は接種時に必要になります。大切に保管してください
- 接種費用は無料です
- ワクチン接種は強制ではありません
- ワクチン接種後も、手洗いなどの感染症対策は必要です
- ワクチン供給状況により、接種スケジュールが変更となる場合があります



個別接種 身近な病院や診療所等 集団接種 垂水区文化センター(垂水駅北側レバンテ垂水2番館3・4階)

新型コロナワクチン接種 コールセンター開設!!

078-277-3320

電話での問い合わせが困難な方は、
E-mail: pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp

受付時間 平日(月~金)/08:30~20:00
休日(土日祝)/08:30~17:30

相談内容 ●神戸市におけるワクチン接種のスケジュールに関する問い合わせ ●ワクチンの接種を受けるための手続きに関する問い合わせ ●接種券の送付に関する問い合わせ...など

対応言語 日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語 (日本語以外は三者間通話対応)

3月15日現在、神戸市に高齢者用ワクチンとして納入される数は、485人分と発表されています。まだまだ僅かです。医療機関等からの要望もあり、高齢者施設等からのクラスターを防ぐことが医療病床の圧迫を防ぐことにつながるという観点から、まず老人ホーム等の入所者から接種するとの方針です。
入所者以外の方々への接種の流れは、記載の通りですが、時期については国からの納入予定が示され次第、神戸市で決定していくこととなりますことをお知らせ致します。



神戸市議員 しらくに高太郎 垂水区

水道局 令和3年3月1日

1. 水道技術職について

■質問：しらくに高太郎
 昨年の予算特別委員会で「専門職の確保」について質疑したところ、「多能工的に担える職員を確保・育成し、少数精鋭の効率的な組織体制構築が必要」と答弁があった。この度、水道技術職が創設されることになり、大いに評価する。役割と今後の見直しなどについて伺いたい。

■答弁：水道局長/昨年10月、水道技術職を創設した。これまで全市異動で技術職員が入れ替わり、ノウハウが蓄積されない、高齢化、後継者不足、また技術職と作業手を別々に分けて仕事をしていたので効率性を欠く…などの課題があった。今後は、民間で行える業務は委託し、安全に直結する業務は直営を維持し、工事監督や水量調整をはじめ工事積算や設計、水質検査などを技術職が担い、計画的に採用し、水道技術技能の継承を進めたい。

2. 垂水センター等の再編について

■質問：しらくに高太郎
 西区も管轄している垂水センターの西部センター(須磨)への統合は、漏水事故や突発的な事故への対応がしっかりできるのか、危惧する。再考すべきと考えるが見解を伺いたい。また、令和4年春に予定との事だが本当に出来るのか。

■答弁：副局長/初動対応に遅れが出ないように、例えば、高速道路を積極的に利用し、管轄情報の電子データを迅速に確認しタブレットも携行、また緊急自動車を活用するなど適切に対応できるよう対策を講じていきたい。図上でのシミュレーションは行っているが、実地検証の必要もあると考えているので、令和4年春を目標としつつも検証には必要な期間は確保した上で実施したい。

3. 4号館から「たちばな研修センター」への移転について

■質問：しらくに高太郎
 市民サービスの低下と業務の非効率にならないか、伺いたい。

■答弁：副局長/災害時に危機管理部門との連携がこれまで通り取れるのか、検討してきた。1点目、震災から水道施設の耐震化を進め、災害への備えや被害が最小限にとどまるような取り組みを進めてきた。2点目、これまで本庁機能と各センターは離れていたが、東部水道事務所と同じ庁舎になるので現場との緊密な連携は可能となる。3点目、震災から26年、情報通信手段が発展し、業務環境がネットワーク上で運営されている状況で、職員個人もスマホの普及も進み、情報共有や伝達、スピードも格段に向上している。また非常用電源の確保などにより、市対策本部との情報共有や市民向け情報の発信など、対応可能と考えている。

4. 漏水対応について

■質問：しらくに高太郎
 「水道修繕受付センター」に連絡し、業者が2回来て料金も払ったが、漏水箇所が分からないままである…という相談があった。その後、水道局から調査に来てもらったら、漏水を調査する道具で問題の箇所が分かり、直った。「水道修繕受付センター」に修繕(漏水)工事が出来るよう指導・教育を行うべきであり、必要な道具も貸与すべきと考える。また、市内でどの程度の漏水があるのか伺いたい。

■答弁：西部センター所長/修繕受付センターを通じ、修理業者に内容を伝え、改善を図っていただくという指導をしている。漏水確認をする機器は2つあり、水道局しか持っていないということではなく、たまたま今回は持っていない会社が行ったと考えられる。育成できる環境と機械を捉えて指導していきたい。また、漏水のあるお知らせをした件数が約7300件、そして、前の検針と比べ使用量が多くなっていることをお知らせした件数が約4700件。早急に対処して参りたい。

建設局 令和3年3月8日

1. 垂水駅前 のリニューアルについて

■質問：しらくに高太郎
 垂水駅前のロータリー整備についてはここ数年、地元の方とも調査・要望してきた。どのような整備が行われ、事業スケジュールはどうなるのか伺いたい。

■答弁：建設局長/垂水駅北側は、駅への送迎や荷捌き車両にも対応できるロータリー機能がなく、路上駐車や乗降が多く見られることから、渋滞の発生や車両と歩行者が交錯するなど、利便性や安全性に課題が生じている。駅東側には、都市局が臨時駐車場に建設される新垂水図書館の1階に身障者スペースを含め6台分、駅西側には、平面駐輪場に建設する立体駐輪場の1階に身障者スペースを含め4台分の停車可能なロータリーを整備することとしている。令和3年度に設計を行い、東側は新垂水図書館の整備と連携して令和5~6年度に、西側は令和4年度の完成を目指している。また西側では、植栽や照明などの改修、今後予定しているアンケート調査で得られた意見を踏まえ、時計の設置も検討したい。

り機能がなく、路上駐車や乗降が多く見られることから、渋滞の発生や車両と歩行者が交錯するなど、利便性や安全性に課題が生じている。駅東側には、都市局が臨時駐車場に建設される新垂水図書館の1階に身障者スペースを含め6台分、駅西側には、平面駐輪場に建設する立体駐輪場の1階に身障者スペースを含め4台分の停車可能なロータリーを整備することとしている。令和3年度に設計を行い、東側は新垂水図書館の整備と連携して令和5~6年度に、西側は令和4年度の完成を目指している。また西側では、植栽や照明などの改修、今後予定しているアンケート調査で得られた意見を踏まえ、時計の設置も検討したい。

2. 駐車場のキャッシュレス化について

■質問：しらくに高太郎
 新垂水図書館の建設に伴い臨時駐車場がなくなり、その受け皿とされているレバンテやウエステの駐車場のキャッシュレス化を神戸市の他の局にも建設局から働きかけ、着実な事業進捗をお願いしたい。

■答弁：副局長/建設局が所管している10の駐車場は全て精算機を更新してキャッシュレス決済を導入予定としている。施設のキャッシュレス化は企画調整局が進めているが、機会あるごとに都市局にも働きかけは行いたい。

3. 新垂水体育館への動線のバリアフリー化について

■質問：しらくに高太郎
 福田川交差点の通学路でもある歩道橋を撤去するとかしないとかという意見がある。再度この動線の整備方法を検討していただきたい。

■答弁：建設局長/出来る限り歩行者の安全対策を行うという事で、歩道橋は撤去しない方向でまずは考え、例えば、歩道橋の架け替えやエレベーターが設置できないかなど、様々なことでバリアフリー化できないか検討したい。

4. 高丸インター交差点付近の今後の対応について

■質問：しらくに高太郎
 北向き車線をそれぞれ1車線ずつ確保し、矢印信号も設置され、一定の効果がある。今後、第2期工事をどのような方針で対応するのか。また商大線と西垂水257号線の合流部分についても、道路整備として考えていただきたい(要望)。

■答弁：副局長/昨年11月15・19日、朝7時から12時間の交通量調査を実施した。左折の青時間が長くなったことで流れが良くなっており、目立った渋滞は発生していない。さらなる渋滞対策と安全対策の効果が期待できる2期工事は、交差点北の西側拡幅工事となるが、関係地権者と折り合いがつかない。これを踏まえ、道路線形を東側にもう少し振ることができないか交渉を行っている。今後、地権者と用地交渉へ進み、実施につなげるよう努力したい。

5. 幹線的な生活道路の安全性・快適性確保のための電柱のスリム化・集約化について

■質問：しらくに高太郎
 無電柱化事業が出来ない場合に、電柱のスリム化・集約化が現実的であると考えている。先日施工していただいた潮見が丘2丁目の高丸商大線は、好事例と思っている。例えば、福田川右岸の道路である西垂水58号線は、誰が見ても電柱がど真ん中にある。その他西垂水264号線や224号線など、用地買収をしながらも歩行者と車両の安全な通行を確保するため、電柱のスリム化・集約化を進めてほしい。

■答弁：建設局長/無電柱化事業が困難な場合、スリム化や集約化は一つの解決手段であると考えている。ご指摘の高丸商大線の道路改良事業は、非常に良い工夫した事例ではないかと思っている。電線管理者とも一緒になって検討し、安全で快適な道路空間の確保や人にやさしい歩行者空間の整備について努力したい。

6. 塩屋多井畑線の整備について

■質問：しらくに高太郎
 これまで10数年、通学路でもある塩屋多井畑線の整備について、機会あるごとに申し上げてきた。平成30年度から大谷交差点北側の一部区間において事業化されているが、今後、どのように進めていこうとしているのか、また用地交渉がまとまったら、買収していく方針であるのか伺いたい。

■答弁：副局長/道路幅員も狭く見通しも悪いということで、歩行者の安全面など多くの課題を抱えており、整備が必要である。そこで、早期に整備効果が期待できる大谷交差点以北から公友橋までの約210メートルの区間を事業化し実施している。令和元年度から用地測量し11件の用地買収が必要であることが分かり、現在交渉を行っているところであるが、相続の関係や用地境界の認識のズレなどもあり、境界確定に時間を要している。またお住まいの方も多くおられ、移転先をどうするのかといった課題もあり、用地買収には相当の時間がかかると考えられる。交渉がまとまり合意できた時点で個別に買収し、進めていきたい。

より良い神戸・垂水へ!! 目標にダッシュ!!

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができる場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。

手続き

市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の交付を受けてください。会議の始まる1時間前から先着順で受付します。傍聴の際はマスク着用で。発熱(37.5℃以上)など、風邪症状があるときは、ご遠慮ください。

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。

神戸市会 検索